

# 新潟大学 外国語学習支援スペース FL-SALC 平成 29 年度第 1 学期活動報告

## <英語>

本稿では、平成 29 年度第 1 学期の英語学習支援活動への参加者数、ならびに「英語チャット」参加者（主に日本人学生）および英語チューター（世界各地からの留学生）を対象としたアンケート調査の結果を報告する。GGJ 事業終了により、Study Group 担当者が 1 名減少した。加えて、ターム制への移行にともなう試験期間の増加により、諸活動（チャット、Study Groups、ライティング・センター、発音センター）の実施日が 10 日程度減少した。実施日に関しては参加者の間で多少混乱がみられた。

### I. 活動参加者数

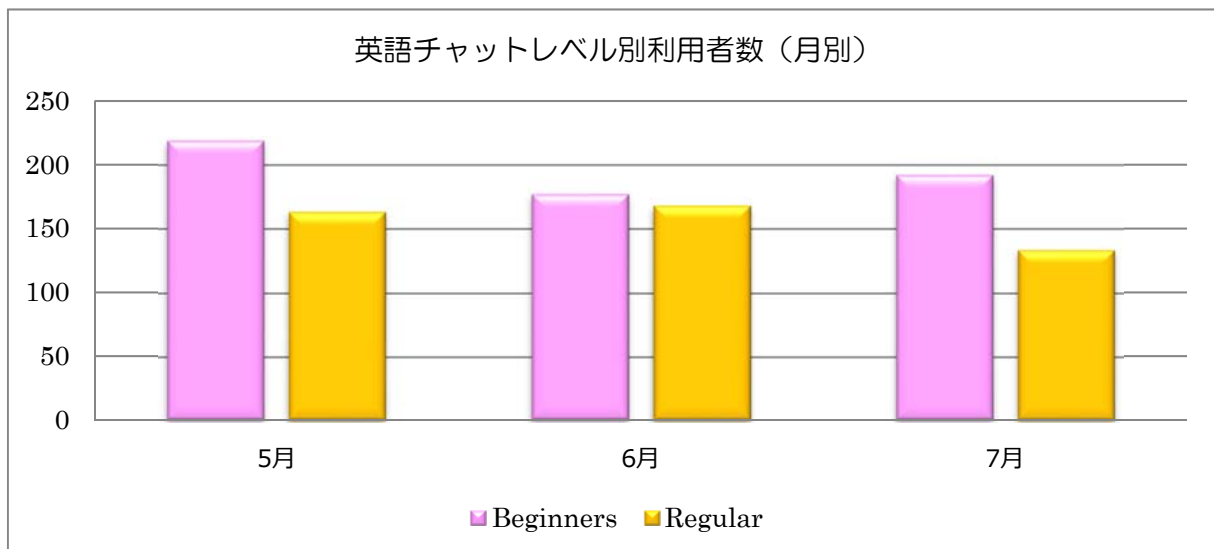
総数（延べ人数）：1,620

※授業期間中の活動：英語チャット 1,052、英語学習アドバイジング 38、英語学習チュートリアル 23、  
Study Groups 260、アカデミック・ライティング・センター 14、発音センター 47

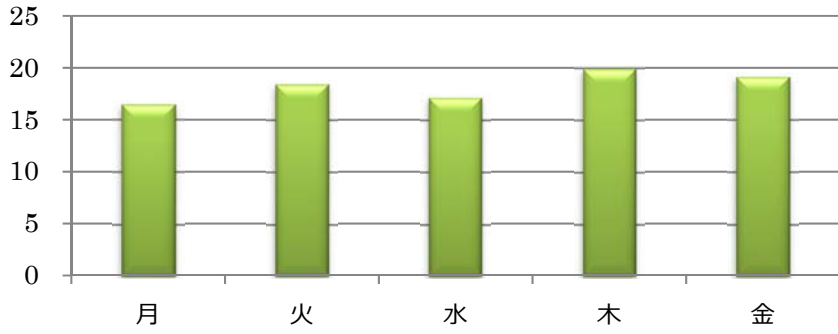
※授業期間後の活動：夏休みチャット 69、夏休み Study Groups 34  
英語学習アドバイジング 6、英語学習チュートリアル 0  
オープンキャンパス・イベント 77

#### I. 授業期間中の活動（4月6日（木）～7月27日（木）学期末試験開始前日）

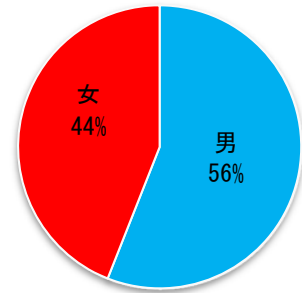
##### ●英語チャット（2階 FL-SALC 内およびその近辺にて実施）



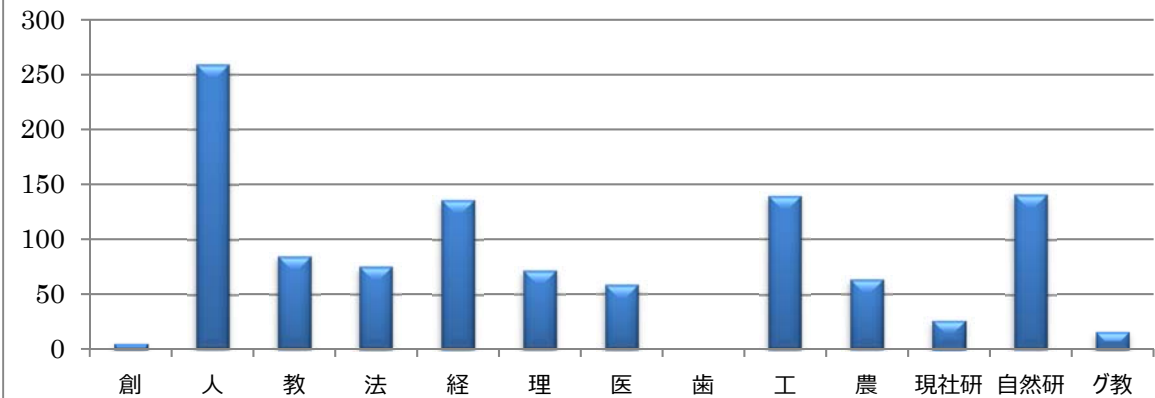
英語チャットお昼利用者数平均（曜日別）



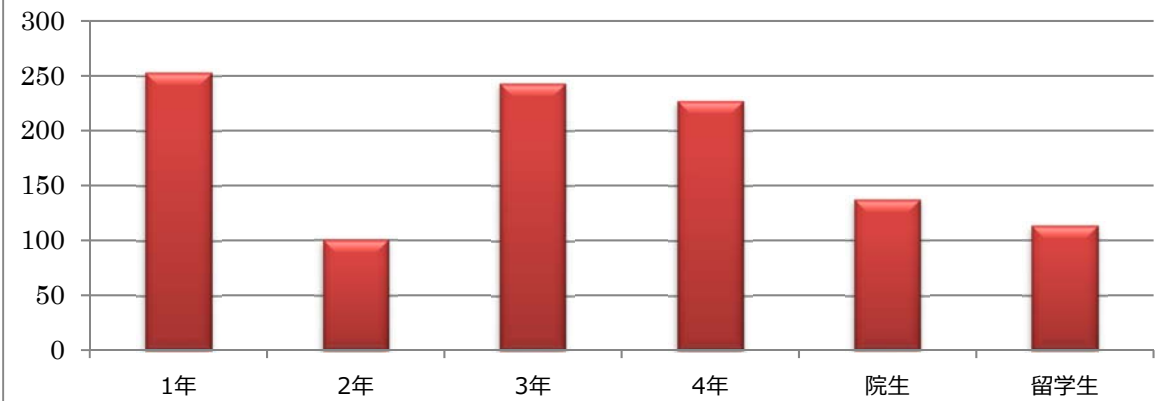
英語チャット（性別）

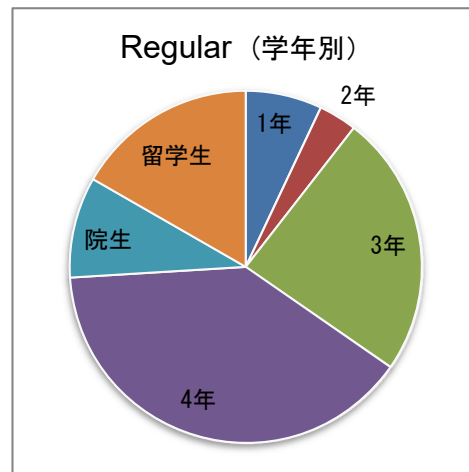
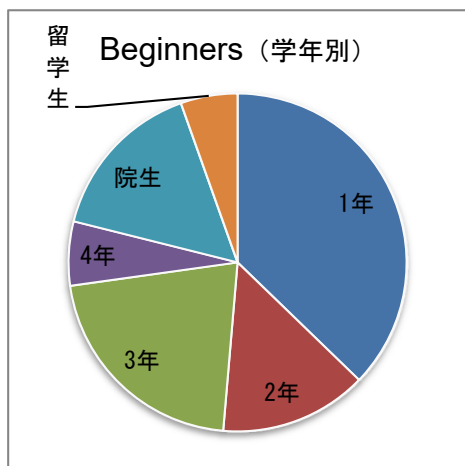
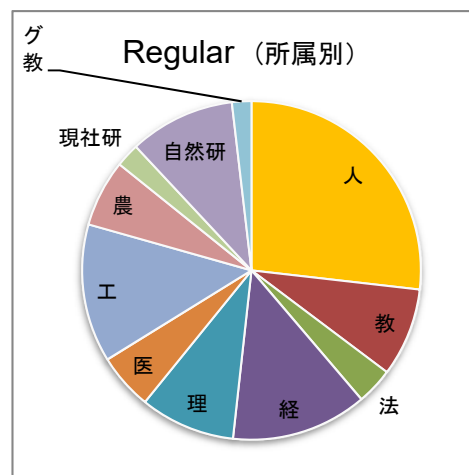
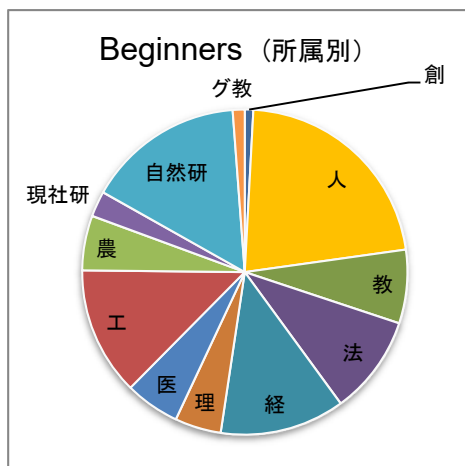


英語チャット全体（所属別）



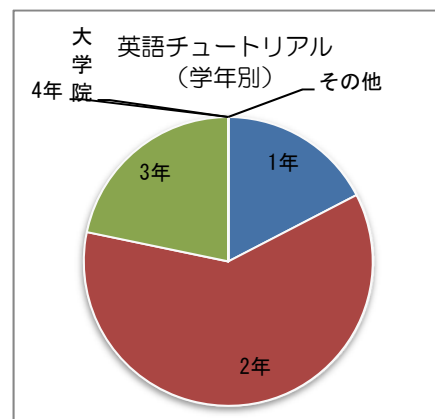
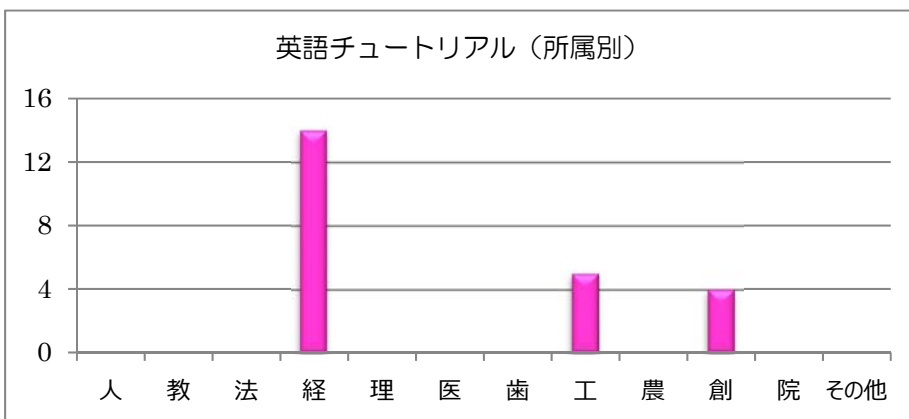
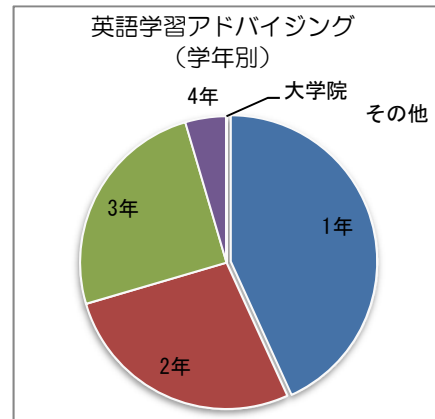
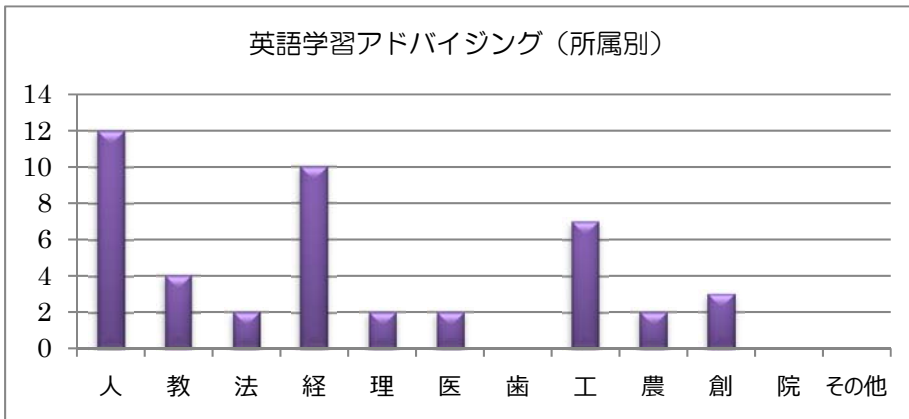
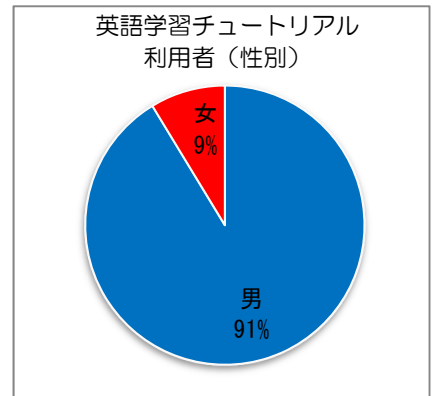
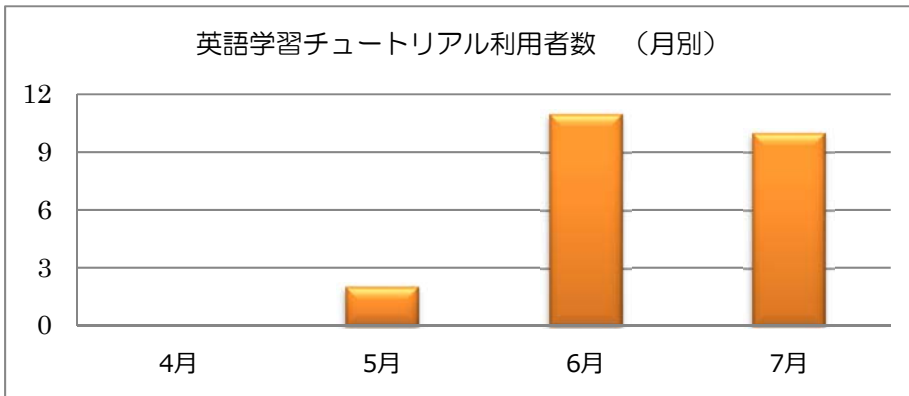
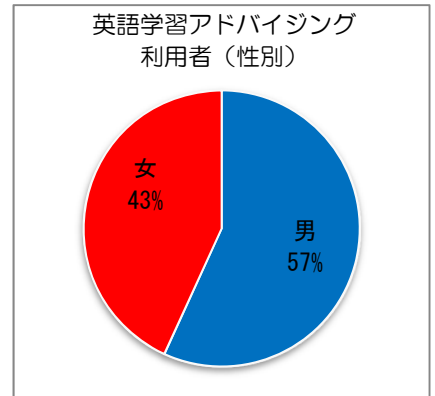
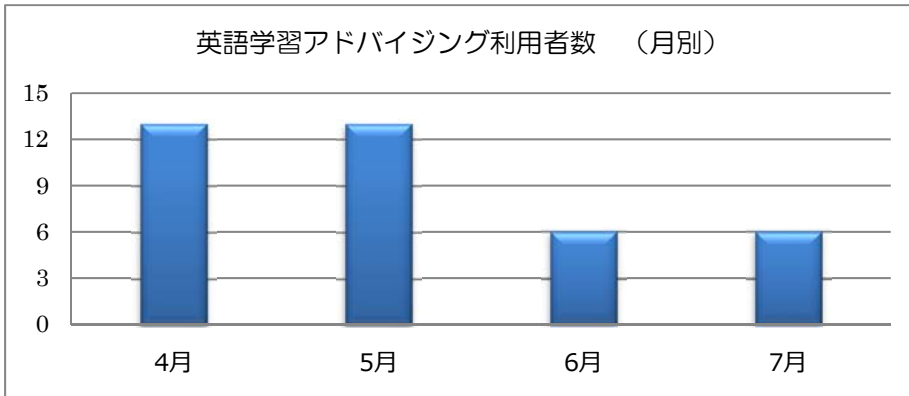
英語チャット全体（学年別）





- 英語チャットを英語による異文化コミュニケーションの実践の場として位置づけ、教員やアドバイザーは介入せずに学生同士の自主性に任せている。ただし、ビギナーズ英語チャットでは、話のきっかけとなるよう学習アドバイザー作成のアウトラインが用意されている。
- 異文化間コミュニケーションの基礎を理解し、他人にも配慮しつつ積極的に参加できるよう、本学期も利用者向けのマナー&表現集を配付した。
- 様々な文化的背景や価値観を持つ留学生を英語チューターとして11名雇用した。内訳は、リトアニア1名、ドイツ3名、カナダ1名、エジプト1名、中国2名、ネパール1名、フランス1名、ベトナム1名であった。
- 今後の課題：
  - ・ 異文化間コミュニケーションに必要な柔軟性を育成するにはどうしたらよいか。チャットに参加してもこの面において成長しない学生が見受けられる。
  - ・ 参加者が積極的に話題を提供するような仕組みが求められる。

●英語学習アドバイジング&チュートリアル（FL-SALC 内にて実施）



- ▶ 「英語学習アドバイジング（学習相談）」では主に英語の学び方を学ばせ、「英語学習チュートリアル（個別指導）」では特定スキルの習得に向けた個別指導を提供した。

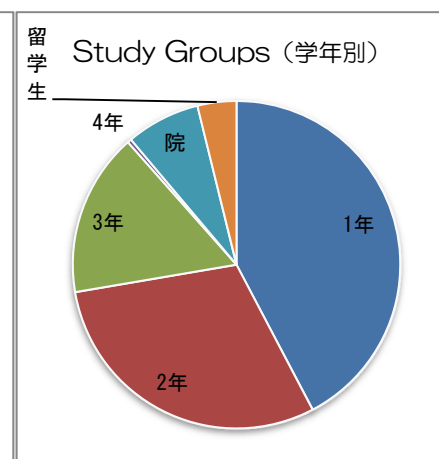
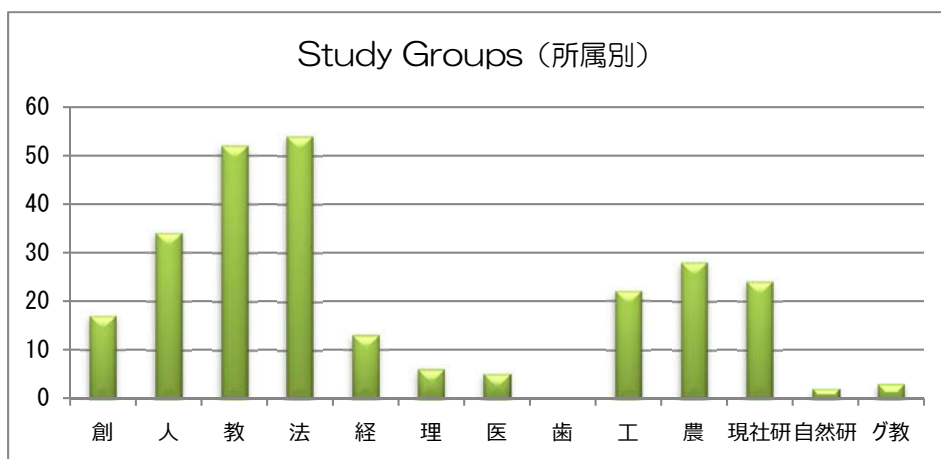
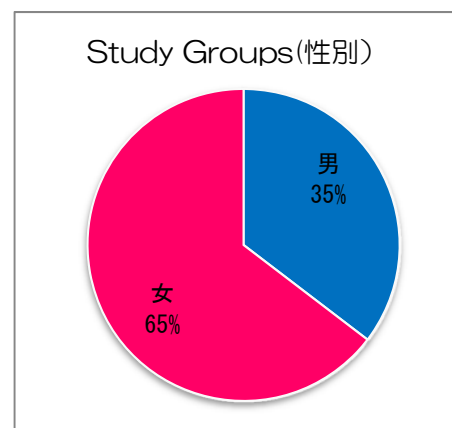
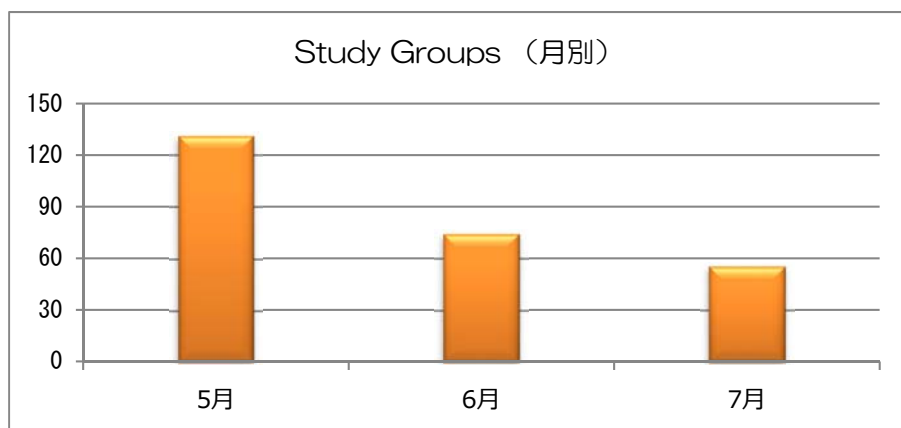
### 第1学期の主な相談・指導内容

●相談項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1. TOEIC 対策	41%	53%	66%	59%	33%	50%
2. TOEFL/IELTS 対策	9%	12%	3%	4%	33%	50%
3. その他英語資格に関する質問（英検など）	0%	0%	0%	0%	0%	0%
4. 留学関連：留学先、留学のための学習相談等	0%	0%	9%	4%	0%	0%
5. スピーキングスキルに関する相談	23%	18%	19%	22%	0%	0%
6. リスニング/リーディングスキルに関する相談	14%	6%	0%	7%	0%	0%
7. ライティングスキルに関する相談	5%	6%	0%	0%	0%	0%
8. 目標設定、学習計画、モチベーション維持に関する相談	0%	0%	0%	0%	33%	0%
9. その他	9%	6%	3%	4%	0%	0%

### ▶ 今後の課題

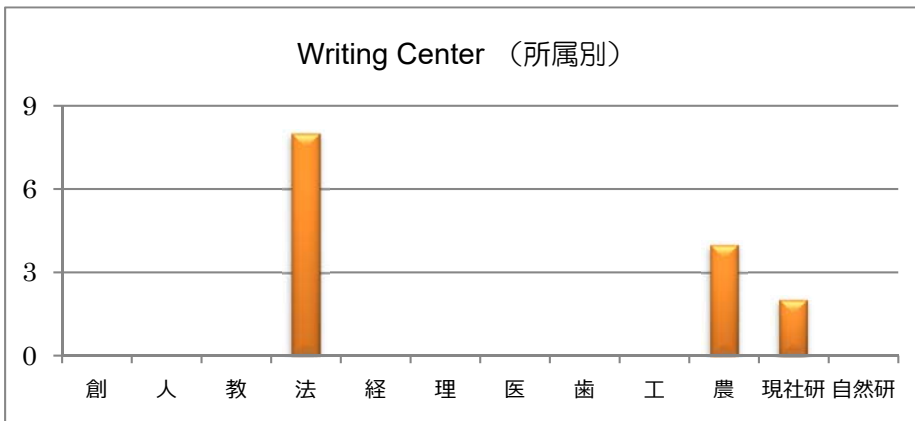
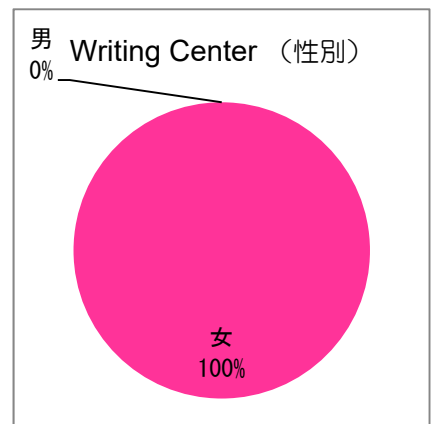
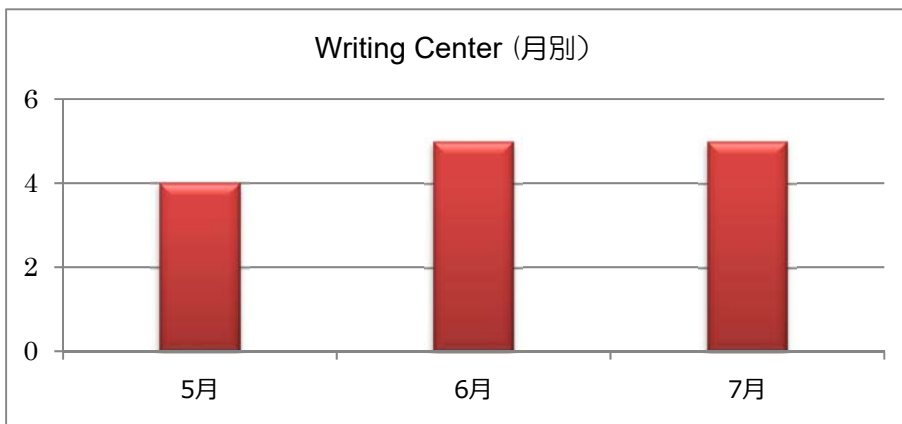
- ・ 学部に出向くなどして利用を促進したい。

### ●登録制 Study Groups（3階グループ学習室にて実施）



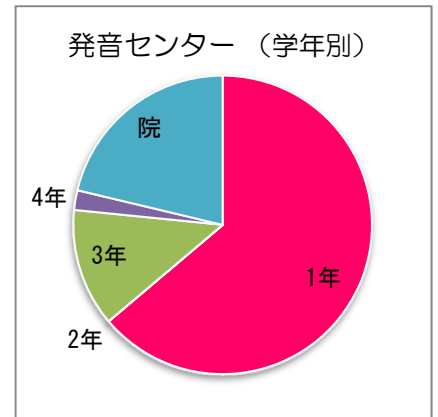
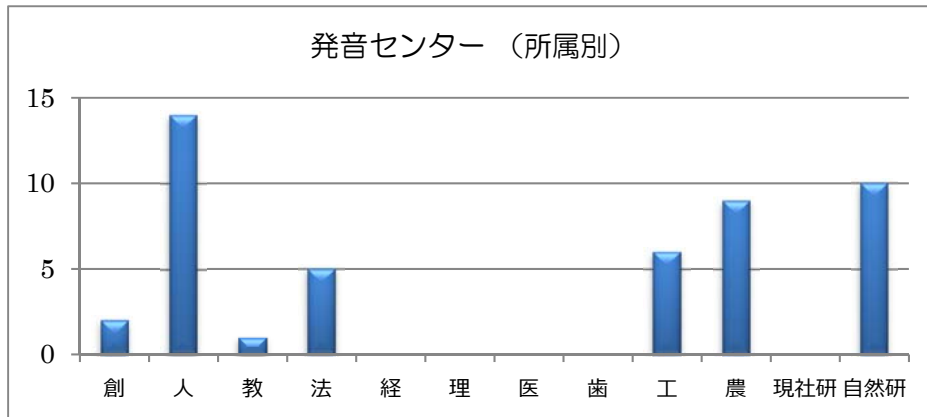
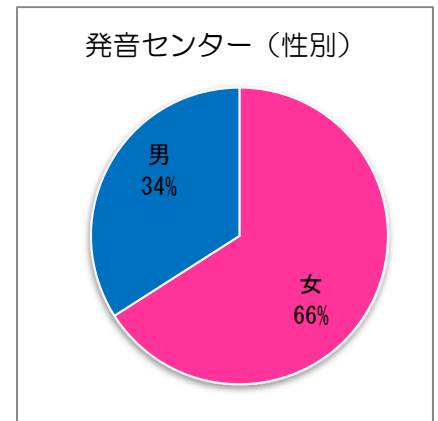
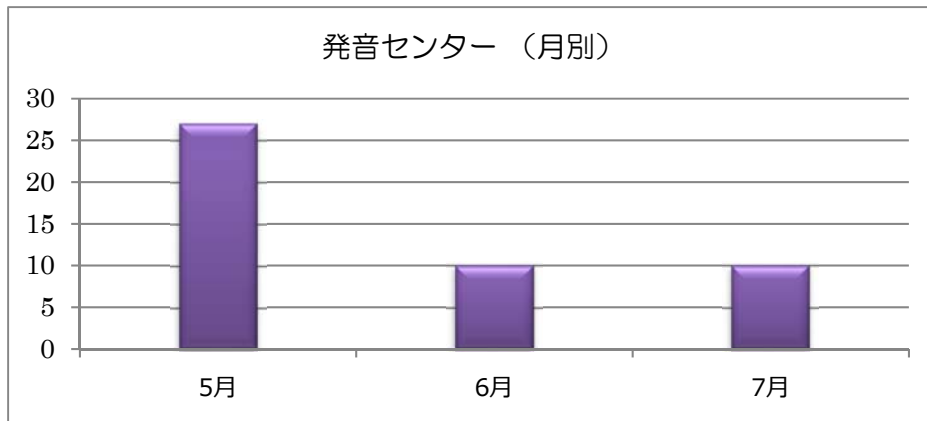
- 英会話、文法、語彙、検定試験等、テーマ別に小グループでの学習の機会を提供した。
- 第1学期 Study Groups
  - ・ 月曜 11:55-12:40 「本格的英文法講座」(担当: 人文社会・教育系准教授 秋孝道)
  - ・ 火曜 12:00-12:45 「初めての海外旅行・海外研修」(担当: 教育・学生支援機構准教授 ハドリー浩美)
  - ・ 木曜 15:00-15:45 「基本的英文法講座」(担当: 人文社会・教育系准教授 秋孝道)
  - ・ 木曜 13:00-14:00 「TOEIC (初級レベル)」(担当: 教育・学生支援機構准教授 奥村圭子)
  - ・ 金曜 12:00-12:45 「目指せ基本英単語集中マスター」(担当: 人文社会・教育科学系准教授 平野幸彦)
- 今後の課題:
  - ・ 多くの登録者が最後まで完走するような工夫が求められる。

●アカデミック・ライティング・センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週月曜 12:00-14:00 にライティング指導を実施した。(担当: 教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

●発音センター (3階グループ学習室にて実施)



毎週水曜 12:00-12:45 に発音指導を実施した。(担当：教育・学生支援機構准教授 ジョージ・オニール)

2. 授業期間後の活動

●夏休み英語チャット (2017年8月3日(木)～9月30日(金): 8/25～8/31、9/22 お休み)

英語チューター 4名

参加者合計 69名

●英語学習アドバイザーによる夏休み集中 Study Groups (登録制)

TOEIC Study Group: 9月4日(月)～8日(金) 10時～12時、参加者 24名

English Boot Camp : 9月25日(月)～29日(金) 2限、参加者 10名

●英語学習アドバイザー

8月利用者 4名

9月利用者 2名

●英語学習チュートリアル

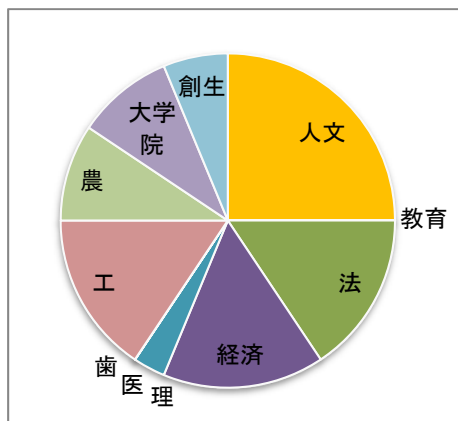
8月利用者 0名

9月利用者 0名

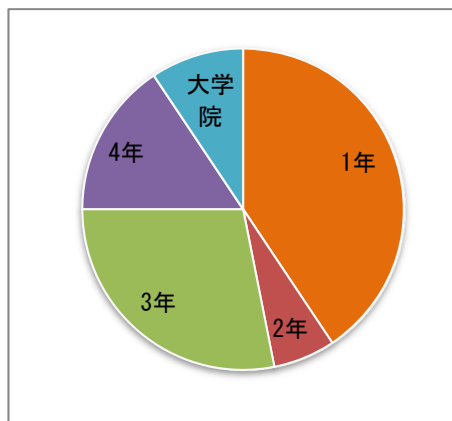
## II. 英語チャット参加者へのアンケート調査結果

(2017年7月実施、自由記述部分は原文のまま)

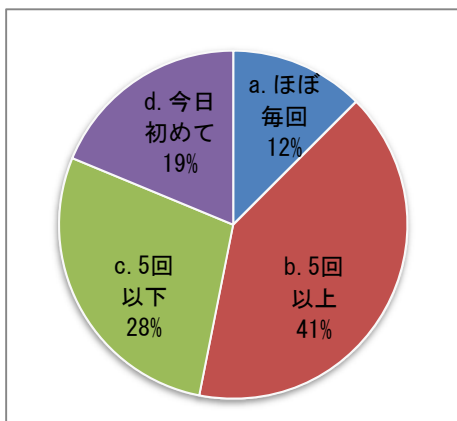
### 1. 所属



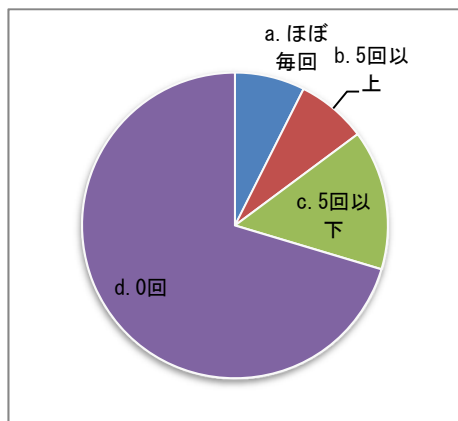
### 2. 学年



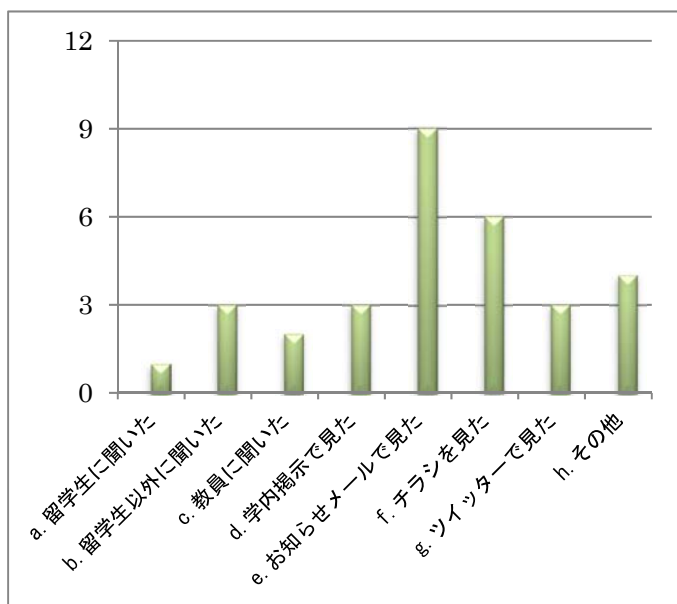
### 3. 今学期の英語チャット参加回数



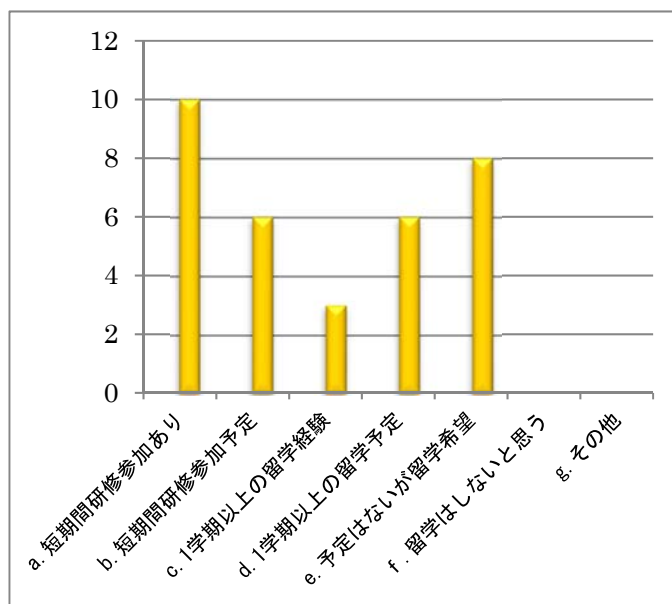
### 4. 今学期の初修外国語チャット参加回数



### 5. 英語チャットを何で知りましたか？※複数回答



### 6. 留学をしたことはありますか？※複数回答





## 7. 英語チャットに参加した動機は何ですか？

### <英語力強化>

- ・ 英語をきたえたい
- ・ 会話力の向上 (3件)
- ・ スピーキング能力をあげたかったから
- ・ speaking の練習のため (2件)
- ・ 語学力を向上させたいと思ったから
- ・ 英語の練習
- ・ 英語が苦手なので
- ・ 英語をキープするため

### <英語を話す機会>

- ・ 英語を話せるようになりたい (6件)
- ・ かっこよく話せるようになりたいと思ったから
- ・ 英語を使用する機会を、日常生活の中に設けたいと思ったから
- ・ 楽しそう、実践的練習
- ・ ずっと話してなかったから

### <留学生との交流>

- ・ 外国人と話したいから
- ・ 友達作り

### <留学準備>

- ・ 夏に短期留学へ行くため
- ・ カナダの留学に備えるため (2件)
- ・ 後期から留学に行くので、少しでも英語に慣れようと思ったため

### <その他>

- ・ 暇を持て余して
- ・ 特になし (2件)

## 8. 英語チャットは、英語学習の点から具体的にどのように役立ちましたか？

### <英語力強化>

- ・ 話せるようになってきた (2件)
- ・ 会話力の向上
- ・ 自分から積極的に、落ち着いて話せるようになった
- ・ コミュニケーション能力向上 (4件)
- ・ Speaking と Listening の練習 (3件)
- ・ 実用的な英語を学べる
- ・ 自分で話して表現しているという観点から役立った
- ・ 英会話を実践的に発揮できる
- ・ 話すときには、こういう表現を使えばいいと判ったり自分の不理解に気づくことができる
- ・ 運用力の向上
- ・ 聞いて理解し、話すこと

- ・ ちゃんと聞くということ

#### <英語を話す機会>

- ・ 英語で話すことを恐れずに自分から話す勇気がついた
- ・ 話す機会になったし、英会話を聞く機会になり抵抗がなくなった
- ・ 英語を話すことは多くないので良い会話練習になったと思います
- ・ 英語の会話に慣れること
- ・ 自発的に喋ること

#### <留学生や他の学生等との交流>

- ・ 英語を通して異文化を学べる、積極的になれる
- ・ 外国人と話すことに対する壁をとりはらえた
- ・ 英語学習に関するアドバイスをもらった
- ・ マリウスとの情報交換

#### <その他>

- ・ 楽しくできること
- ・ 自分がどのくらいしゃべれるのかがわかった
- ・ 特になし (3件)

### 9. 英語チャットは異文化理解の点から具体的に役立ちましたか？

- ・ はい
- ・ 様々な国と日本との文化教養を生で聞けて面白かった
- ・ 言語の違いがあっても、ジェスチャーを使ったりゆっくり話してもらうことで理解しあえた
- ・ 文化が知れる
- ・ 友達作りや海外のゲームを知れた
- ・ 中国共産党の意見が聞ける
- ・ 異文化を知る大きな役割を課していると思う
- ・ いろいろな価値観を聞くことができた
- ・ フランス人の考え方が分かった
- ・ ネイティブの人と話せるので生の声が聞ける
- ・ 日本以外の国のことがきけるのでよい
- ・ 日本では考えられない他国の常識を知れた
- ・ 日本と違う感覚を持っていることが直に体感できる
- ・ 意識しなかった偏見に気づくことができる
- ・ 異文化を少し学べた
- ・ 各国の話とか
- ・ その国の人からその国について直接聞けるから
- ・ 様々な国の人と話してて日本との違いを多く知った
- ・ 多様な価値観、生活の一部を理解できた
- ・ 特になし (7件)

### 10. 英語チャットに参加して困ったことは？

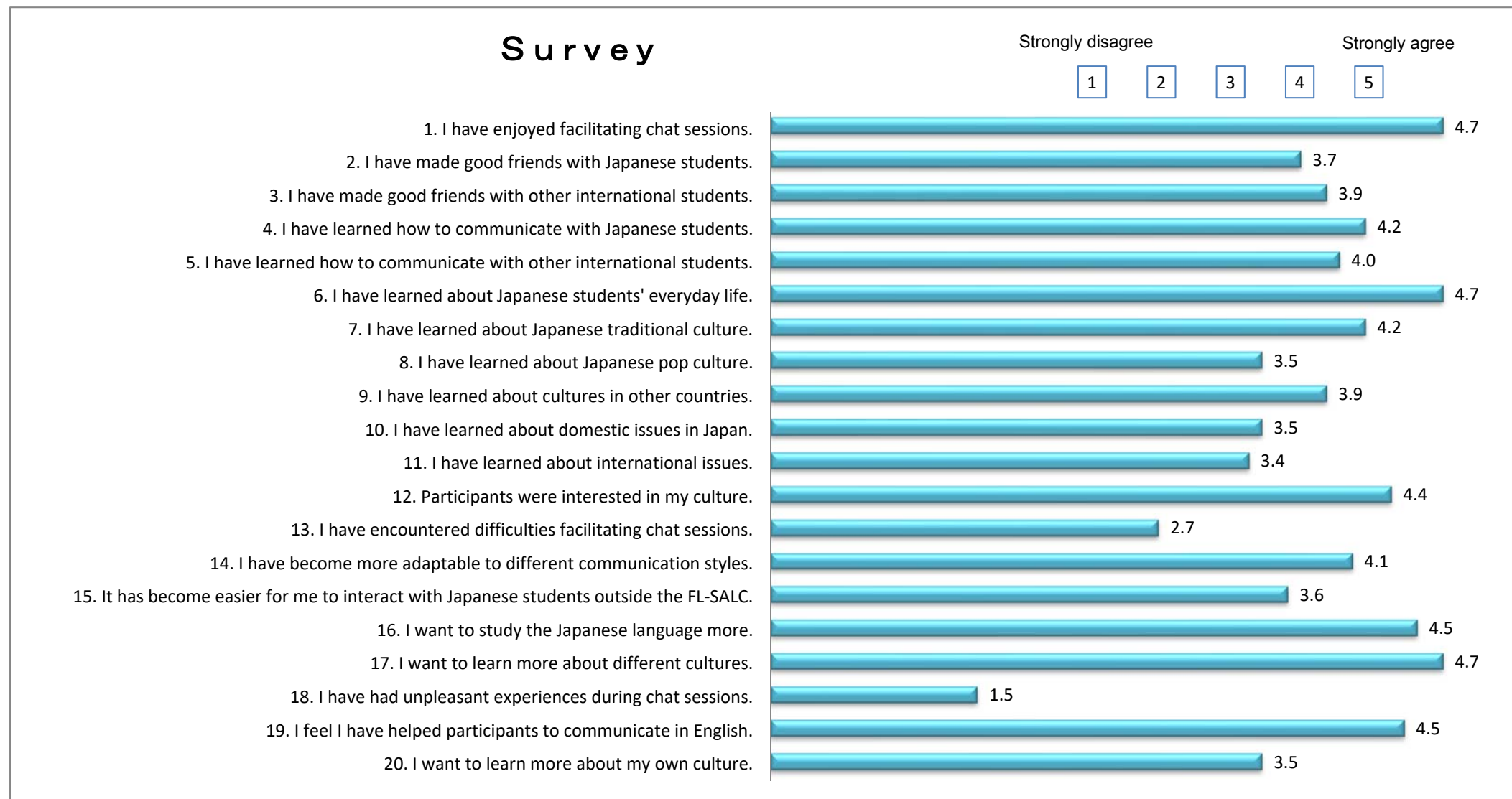
- ・ 英語が喋れなくて表現したいことがうまく言えなかった
- ・ 語彙力が足りず、なかなか言葉にできなかった
- ・ 聞き取れないことがあって、反応できないことがあり申し訳なく思ってしまう
- ・ 1テーブルに人が多すぎると話す機会が減る
- ・ チューターが話しすぎ
- ・ いろいろな国のアクセントに慣れること
- ・ 言いたい英語がでてこなくて困った
- ・ ときどき英語が分からない
- ・ 英語でうまく表現できないとき
- ・ 全然理解できなかった
- ・ 自分の思いを伝えるのが難しかった
- ・ たまに表現できない時があった
- ・ 表現が伝わらなかったとき
- ・ 少し聞き取れなかったとき
- ・ 席がうまっけていて入れなかった
- ・ 特になし (20 件)

#### 11. 英語チャットを有意義なものにするアイデアは？

- ・ いろんな留学生と話したい
- ・ ご飯を食べながらおしゃべりしたいです
- ・ テーマを決めておいて議論する会
- ・ トピックの紙は無いほうがいいのでは。
- ・ ビギナーと中級の間がほしい (2 件)
- ・ I have any idea
- ・ 午後の部の回数を増やしてほしい+時間を遅らせてほしい (授業の関係のため)
- ・ 特になし (24 件)

## II. 英語チューター（英語チャット担当の留学生）へのアンケート調査結果

(2017年7月実施、11名全員回答、自由記述は原文のまま)



質問（自由記述）：

- (a) What were your reasons for applying for the English Language Tutor position?
- (b) How has the experience as an English Language Tutor helped you?
- (c) What was it that you did not enjoy as an English Language Tutor?
- (d) For the betterment of chat sessions, do

英語チューター1

- (a) On one hand, I wanted to improve my ability of communicating with the Japanese students. And also I wanted to make more Japanese friends through this platform.
- (b) Because I am actually not the native speaker and since I came to Japan I seldom have the chance to speak English so sometimes I cannot come up with some familiar words. So this English corner help me to enhance my English level. At the same time, I also learnt the Japanese culture in depth by communicating with the participants.
- (c) I think this work is very enjoyable. There is nothing let me feel unenjoyable. But sometimes I will meet such a situation that maybe participants want to communicate but some words may too difficult to them and they cannot express themselves so they may give up speaking. And I will try to help them to make the sentence completed and try my best to come up with the new topic to let them forget the embarrassment.
- (d) Of course tutor plays an important role in this English corner. But topic is very crucial to the beginner too. So the good topic can attract their attention and trigger their interest.

英語チューター2

- (a) I wanted to get in contact with Japanese Students and make new friends. Also I wanted to learn something about the everyday live in Japan. Further I hoped that the Students here have some advises for me, for example the best places to travel to or to go out for dinner.
- (b) Working as an English Tutor improved my spoken English and to use different communication styles. Also I met a lot of different really nice people and I get some hints which enriched my everyday live here.
- (c) Sometimes it was hard to have a fluently conversation in the Beginner chat. That was really arduous. I had no normal English Chat this year that was quite sad.
- (d) A chat group of around 3 people is a good size. Probably it is better to have more Chats at the beginning of the semester and less in the end. But I don't know if that fits with the organization.

英語チューター3

- (a)
  1. Learn more about Japanese culture through Japanese students
  2. Enhance my communication skills in English through communicating with Japanese students
  3. Learn about different specialties (law, engineering, media and so on) from Japanese students from different schools in Niigata University

- (b) This experience added to me that I have to do my best to reach my idea or receive an idea from other people through using other synonyms for the word or using my body language to explain and so on.
- (c) In some cases, I could not understand what Japanese students want to say especially for beginners. They try to explain to me in Japanese but Unfortunately, I couldn't get it
- (d) 1. Prior announcement about the topic that we have to discuss for both tutor and student.  
2. The material used for chat session should be more comprehensive like the proposed vocab for each topic and what is the most tense rules which can be used in such topic and so on.

#### 英語チューター4

- (a) Because I wanted to speak with japanese discover more about they culture and told them about France so that they can have a new picture appart from paris and mont st michel !
- (b) Yes it was very nice
- (c) When the japane come and did not even try to put some words when I asked them some question... I could help them but only if they try to speak !
- (d) Told them that there is 2 levels

#### 英語チューター5

- (a) \*I wanted to help others to improve their English skills, because I know that speaking is one of the most hardest things in learning languages.  
\*I wanted to meet new people and learn more about their culture, teach about my own and make some friends.  
\* In general, I think teaching or tutoring is very valuable experience, therefore in my free time I wanted to do something that I could value.  
\* I wanted to have a job and earn some money.
- (b) I have learned a lot from the students, I feel that I have become more open-minded person. I have learned how to ask more questions and how to listen carefully, how to make other people more comfortable to speak up.  
Also, I have become more responsible and better at managing my time.
- (c) Many students are afraid to go to the regular chat, so they always go to the beginner's level even though they are very good in English, thus in regular chat we always would meet same people. Therefore, it sometimes would be a bit hard to come up with new topics for a regular chat.
- (d) Encourage more students from the beginner's chat to try joining the regular one.

#### 英語チューター6

- (a) My Japanese friend was a tutor, and he said FL-SALC is a fun place.
- (b) It helped me a lot. I met a lot of Japanes students, and was able to communicate with then in English helps me understand some of their thoughts. Working at Englisht chat also makes me a little bit more outgoing.
- (c) Nothing, I think.

- (d) Let more students know about what FL-SALC is exactly doing, rather than some rough description. Some of my classmates don't know FL-SALC, or only know the name but don't have the clue about what we are doing.

And there should also be some encouragement to students to take part in FL-SALC, to let them want to try.

#### 英語チューター7

- (a) I wanted to have a frequent possibility to talk to a variety of different Japanese and international students, help Japanese studying English, improve my own English skills and make friends.
- (b) First of all I noticed typical behaviours of Japanese and structures of conversations in Japan, most of the participants also tried implement in our conversations. It was a possibility to hear English versions of Japanese standard phrases, which helped to get a feeling for communication culture in Japan. But I also got to know multiple specific cultural aspects from other countries so that I was able to improve my cultural understanding and find relations between them.
- (c) Even though the majority of participants were actually interested in not just conversations, but also other participants, a few of them barely spoke and answered on questions. It is extremely difficult to make up good conversations if people appear to be absolutely not interested in talking. And that was not caused by lack of English skills or difficult topics, as I always tried to adapt these aspects to the participants. Another big problem is some participants' lack of cultural understanding. Of course one tries to adapt to Japanese style of communicating, but part of studying a foreign language is also to get a feeling for the related culture which some of the participants refused to accept, thus were often really passive and closed-minded when people brought up certain topics that are completely normal to talk about in western culture.
- (d) I think the organization and the management of the English Chat can not be criticised. In my opinion the officials did a really good job on that. The only problems that appeared are related to the participants no one can have an influence on.

#### 英語チューター8

- (a) I was the student of FL-SALC English Chat on previous year session. At that time one of the tutor inspired me to join as a tutor from next session. So I applied for it.
- (b) It helped me a lot now to communicate in intercultural international group.
- (c) Not at all I enjoyed a lot as an English language tutor.
- (d) The chat group should have less number of students that each student get chances to speak about the topic at least five to seven times. It helps beginners to suppress their shyness towards speaking English.

#### 英語チューター9

- (a) I wanted to earn some additional money while having the chance to get to know Japanese and other international students.
- (b) It definitely helped me in broadening my knowledge about cultures all over the globe, especially

in East Asia. In addition it helped me developing some teaching and communication skills.

- (c) I did not enjoy to cooperate with certain other tutors who were constantly interrupting the participants when they struggled in finding words. I think this chat is about the participants and not about the tutors.
- (d) I would suggest not to handle the Friday afternoon session as until now since as far as I know there have not been two different levels anymore. I see that this is also due to the fact that not that many students come there on Friday but since there always have been two tutors it should be possible. The presence of participants on completely different levels is frightening the weaker students from my point of view.

#### 英語チューター10

- (a) I wanted to give Japanese students a chance to practice their English speaking skills with a native English speaker.
- (b) It helped me earn some money while living in Japan.
- (c) Nothing.
- (d) n/a

#### 英語チューター11

- (a) I already did Anja Hopf's German chat and enjoyed it a lot. Since In the following semester I was not able to become German tutor again, I applied for the English chat.
- (b) I learned to be more patient and understanding.
- (c) Japanese students who just joined the English chat for other friends and telling me that they neither are able to speak English nor want to try it. Often the lack of own initiative by the students. Sometimes it felt like I would have to force them to talk.
- (d) Flexibility. More advertisement for the chat since I met a lot of students who were willing to improve their English but never heard of the chat.

教育・学生支援機構グローバル教育センター ハドリー浩美  
学務部教務課 (FL-SALC アシスタント) 江部早苗